

# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素よりOKIグループの経営に対しまして多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。第91期(2014年度)報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

## 2014年度の業績

OKIグループの業績は、情報通信システム事業をはじめ各事業が堅調に推移したことから、売上高は前期比571億円増の5,402億円となりました。営業利益は、情報通信システム事業における物量増やプリンタ事業での機種構成の良化などにより同52億円増の324億円となりました。

経常利益は、為替差益の減少があったものの営業利益の増加により同12億円増の379億円となりました。また、当期純利益は、前年度に発生した事業構造改善費用がなくなったことなどから同57億円増の331億円となりました。

2014年度の配当につきましては、順調に期間利益を積み上げることができたことから、1株当たり中間配当2円、期末配当3円の年間配当5円を実施させていただきました。

## 2015年度の目標

2015年度は、「中期経営計画2016」の目標達成に向けた基盤固めの年と位置づけ、持続的な成長に向けて引き続き取り組んでまいります。

成長領域においては、ATM事業は中国をベースにその他の新興国市場での展開を加速し、ブラジルではTCR（窓口用入出金機）や紙幣還流型ATMを投入して積極的に市場開拓を行います。プリンタ事業では、新商品の投入とチャネルサポートの強化により販売



代表取締役社長

川崎 秀一

攻勢をかけていきます。国内市場では、次世代社会インフラ事業の立ち上げを本格化するほか、底堅い国内需要の確実な獲得を目指します。さらに、販売・生産拡大を目的とした積極投資を行うことで、成長の加速を図ります。

これらの取り組みにより、売上高は前期比48億円増の5,450億円、営業利益は同24億円減の300億円、当期純利益は同111億円減の220億円の見込みです。

2015年度の配当につきましては、1株当たり中間配当2円、期末配当3円の年間配当5円を計画しています。OKIは今後も、株主のみなさまへの安定的かつ継続的な利益還元を最重要課題として取り組んでまいります。

株主のみなさまには、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月